

Iron Man, Iron Lady の散歩道 (但馬編)

(モデルルート 2) 但馬の高いところ絶景めぐり旅 [土日出発限定]

日本海や円山川の絶景を車窓に、但馬の鉄道資産をめぐる。1日(日帰り)で余部鉄橋「空の駅」と、天空の城と言われる竹田城跡(のどちらも「高い」ところ)からの絶景を満喫する欲張りなルートです。(※1月4日～2月末は、竹田城跡への入城はできません)

姫路駅 6:35→上郡駅 7:07 (JR山陽本線)

上郡駅 7:25→鳥取駅 8:36 (特急スーパーいなば 1号)

日本海を目指しますが、姫路駅からはまず山陽本線で西に向かって出発。上郡駅からは智頭急行を経由する特急で一気に鳥取県入り。

鳥取駅 8:56→餘部駅 9:46 (快速山陰海岸ジオライナー) < 2月以降 当面の間 運休 >

鳥取駅からは、臨時快速列車に乗車。山陰海岸ジオパークがラッピングされた専用車両(キハ126)で運転されます(※)。景色の良い場所では減速運転のサービスも。浜坂駅より東側で、新型のキハ126に乗車できるのは、「山陰海岸ジオライナー」が唯一の機会。

※土日を中心に運転されますが、運転日は事前にJR時刻表等でご確認下さい。

※運用の都合で別の車両で運転する場合があります。

餘部駅では、余部鉄橋「空の駅」を見学します。旧余部鉄橋の一部を活用した展望施設(標高約40m)から日本海の絶景を満喫。余部橋梁の下には、道の駅あまるべがあり、100年の風雪に耐えた旧余部鉄橋の鋼材を使った限定グッズも発売されています。(餘部駅から道の駅まで、片道徒歩約15分)

<http://www.town.mikata-kami.lg.jp/www/contents/1398417179986/index.html>

餘部駅 10:44→城崎温泉駅 11:30 (JR山陰本線)

駅を出発すると列車はすぐ余部橋梁を渡り、次は鎧駅に停車。鎧駅は、漁港を望む絶景駅で、青春18きっぷのポスターにもなりました。鎧駅には、海産物を駅まで運ぶインクライン跡もあります。竹野駅まで日本海の絶景がお供するので、座席は進行方向左側がおすすめ。

城崎温泉では、昼ごはんタイム。駅横には足湯があります。外湯めぐりもできます。

城崎温泉駅 13:05→豊岡駅 13:17 (JR山陰本線)

豊岡駅 13:20→和田山駅 13:50 (JR山陰本線)

座席は引き続き左側を確保。駅を出発すると円山川の景色とともに、南下します。豊岡駅では、電車に乗り換えて和田山駅へ。和田山駅では、ホームから北側にレンガ機関庫の跡が見えます(近寄ることは出来ません)。

和田山駅 14:13→竹田駅 14:20（JR播但線）

竹田駅 15:15→竹田城跡 15:35（天空バス）

竹田城跡 17:20→竹田駅 17:35（天空バス）

天空バスで竹田駅前から竹田城跡を往復するなら、1日乗車券（500円）がお得。竹田城跡バス停（中腹第2駐車場）から竹田城跡へは、徒歩20分。眼下に竹田の町並みが広がります。登り下りが伴うので、帰りのバスには、余裕を持ってお戻り下さい。

天空バスは令和3年3月～5月のダイヤを記載しています。最新の時刻表は、全但バスホームページ（<https://www.zentanbus.co.jp/>）よりご確認ください。

竹田駅 18:34→寺前駅 19:19（JR播但線）

旅も終盤。列車は、生野峠の勾配を精一杯登ります。キハ41車両は、全国でも但馬地域でしか見ることができないレア車両。車両前後の「顔（形状）」が全く異なっているのが特徴。キハ41を見かけたら、車両の前後を一度確認してみてもは？

寺前駅 19:26→姫路駅 20:09（JR播但線）

赤い電車（103系）に乗って姫路へ。



余部橋梁からの日本海絶景



キハ41の異なる先頭形状

※ご案内の情報は、令和4年3月12日時点のものです。

時刻は変更となる場合がありますので、詳しくは各時刻表等をご確認下さい。